

2025年10月1日

各 位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2025年 9月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	99.2
阪神梅田本店	134.4
支店計	99.3
全店計	103.2

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- ・ 阪急本店の大型改装に伴う売場閉鎖のマイナス影響が継続する中、国内売上高は阪神梅田本店が牽引し前年を上回った。免税売上高は引き続き前年並みの水準まで回復し、全店売上高も前年を上回った。
- ・ 阪神タイガースが2年ぶりにリーグ優勝し、阪神百貨店各店と神戸阪急では8日からの1週間(神戸阪急は3日間)、優勝記念セールを実施。阪神梅田本店では、2022年4月の建て替えグランドオープン以降、過去最高となる週間の売上高と来店客数を記録。月間での売上高は前年の約3割増と高伸。

○ 阪急本店の概況

- ・ 9月に入っても大阪では真夏日や猛暑日が続く、秋物ファッション全般が苦戦。また、全館の大型改装に伴う売場閉鎖のマイナス影響も継続し、国内売上高および全館の売上高は前年実績をやや下回った。また免税売上高は、海外VIP顧客の売上高が約2割増と牽引し前年に近い水準に回復。
- ・ 秋物ファッションの動きが鈍い中、中旬以降に婦人衣料では識別顧客を中心に本格稼働の基調に。4階コンテンポラリー婦人服では、鮮度あるイベントも引き続き好調で前年の売上高を上回った。
- ・ ラグジュアリー売場の改装に伴う9階仮設売場の認知も高まり、宝飾品の売上高が前年に対して約2割増と実績を大きく上回った。また、100万円以上の高額品(宝飾品以外含む)の売上高も、前年に対し約2割増と高伸。プライダルニースが好調なアクセサリも前年の売上高を上回った。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2024年度							2025年度					
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
阪急本店	113.1	108.1	113.8	113.5	112.3	103.8	96.4	92.2	85.2	81.8	86.6	103.1	99.2
阪神梅田本店	81.5	106.9	79.2	109.4	90.6	92.4	92.1	95.4	102.8	109.2	106.6	118.3	134.4
支店計	105.1	100.5	103.8	101.7	101.3	98.0	97.7	95.2	95.5	92.8	94.3	104.1	99.3
全店計	105.8	105.2	105.8	108.7	106.0	100.6	96.4	93.5	90.2	87.9	91.2	105.1	103.2

■ 食品事業

食品スーパー計	売上高前年比(%)
既存店計	104.2

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181